

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 ダイワボウ (大和紡績株式会社)
 コード番号 3107 URL <http://www.daiwabo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅野 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務IR室長 (氏名) 山村 芳郎
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東大

TEL 06-6281-2404

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|-------|------|-------|------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第3四半期 | 136,756 | — | 800 | — | 921 | — | △290 | — |
| 20年3月期第3四半期 | 51,377 | 0.6 | 1,229 | 15.7 | 1,628 | 20.4 | 2,782 | 300.3 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第3四半期 | △2.13 | — |
| 20年3月期第3四半期 | 20.40 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|---------|---|--------|---|--------|--------|----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 円 銭 | 円 銭 | |
| 21年3月期第3四半期 | 198,577 | | 27,571 | | 12.7 | 185.48 | | |
| 20年3月期 | 84,664 | | 27,831 | | 32.1 | 199.14 | | |

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 25,283百万円 20年3月期 27,151百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年3月期 | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 |
| 21年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 21年3月期(予想) | — | — | — | 3.00 | 3.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 267,000 | 296.9 | 2,800 | 99.7 | 2,500 | 13.1 | 600 | △38.9 | 4.40 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 ダイワボウ情報システム株式会社) 除外 (社名)
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 136,605,158株 20年3月期 136,605,158株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 293,218株 20年3月期 266,291株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 136,329,583株 20年3月期第3四半期 136,345,208株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、上記予想と実際の業績との間には、今後さまざまな要因によって差異が生ずる場合があります。業績予想の前提となる仮定等については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間のわが国経済は、米国に端を発した世界的な金融混乱や急激な円高の影響を受け、企業収益が急速に落ち込むとともに、厳しさを増す雇用環境を背景に個人消費が低迷するなど、景気の後退が深刻になってまいりました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、衣料品・生活資材事業では、成形インナー製品や機能性製品は順調に推移しましたが、主力のニット・カジュアル製品は消費不振の影響を受け苦戦を強いられました。また、紡績糸・テキスタイルの販売低迷に加え、海外向けトランク스가円高の影響により収益が圧迫され、当事業全体では減収減益となりました。

化合繊・機能資材事業では、化合繊事業のレーヨン部門において、昨年来活況を呈していたレーヨン素材の販売が減少に転じたほか、合繊部門においては衛生材向けの合繊綿は好調に推移しましたが、主力のレーヨン系不織布は競争激化により収益を落としました。機能資材事業の機能製品部門では、土木資材関連は堅調に推移しましたが、資材織物部門の合繊帆布等は伸び悩みました。その結果、当事業全体では売上はほぼ前期並みとなりましたが減益は免れませんでした。

当第3四半期から連結子会社となったダイワボウ情報システム株式会社が事業展開を行うITインフラ流通事業では、個人向け市場は小型モバイルノートパソコンやネット販売が堅調に推移しましたが、法人向け市場はIT関連投資の抑制など伸び悩みがみられました。

その他事業では、ゴム部門においては工業用スポンジの急激な需要減退やボールの競争激化により厳しい状況となりました。化成品部門においては電子機器関連の受注減少により、当事業全体としても減収減益となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の連結売上高は136,756百万円（前年同期比166.18%増）、営業利益は800百万円（前年同期比34.9%減）、経常利益は921百万円（前年同期比43.4%減）となりましたが、投資有価証券等評価損や減損損失の計上により、当四半期純損益は290百万円の損失（前年同期比3,073百万円減）となりました。

なお、前年同期比につきましては参考値を記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、ダイワボウ情報システム株式会社を連結子会社にしたことにより、前連結会計年度末に比べて113,913百万円増加し198,577百万円となりました。また、純資産は利益剰余金の減少と円高による為替換算調整勘定により、前連結会計年度末に比べて259百万円減少し27,571百万円となりました。その結果、自己資本比率は12.7%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

米国に端を発する世界経済の景気減速と急激な円高等による影響を受け、経営環境は厳しさを増しています。このような状況のなか、当第3四半期から連結子会社となったダイワボウ情報システム株式会社が事業展開を行うITインフラ流通事業における主力の法人向け市場の需要減退に加え、化合繊・機能資材事業においてレーヨン原綿の国内外での需要不振や産業資材部門の市場悪化により、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は前回発表予想を下回る見込みとなり、平成20年11月5日に公表しました平成21年3月期の通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は、ダイワボウ情報システム株式会社の普通株式および新株予約権付社債に関する公開買付けを実施し、平成20年10月31日付で同社を連結子会社としました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を按分する方法によっております。

③法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、移動平均法による原価法から移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ55百万円減少し、税金等調整前四半期純損失は55百万円増加しております。

③第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、この変更が、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|-------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,524 | 7,462 |
| 受取手形及び売掛金 | 84,007 | 14,607 |
| 商品及び製品 | 25,914 | 5,173 |
| 仕掛品 | 1,167 | 942 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,284 | 1,625 |
| その他 | 7,782 | 2,333 |
| 貸倒引当金 | △729 | △437 |
| 流動資産合計 | 129,951 | 31,706 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 24,377 | 18,975 |
| その他(純額) | 17,336 | 13,255 |
| 有形固定資産合計 | 41,714 | 32,231 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 9,620 | — |
| その他 | 2,267 | 773 |
| 無形固定資産合計 | 11,887 | 773 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 15,927 | 20,234 |
| 貸倒引当金 | △903 | △281 |
| 投資その他の資産合計 | 15,024 | 19,952 |
| 固定資産合計 | 68,626 | 52,957 |
| 資産合計 | 198,577 | 84,664 |

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成20年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

| | | |
|--------------|---------|--------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 81,862 | 13,730 |
| 短期借入金 | 50,545 | 12,666 |
| 1年内償還予定の社債 | 800 | 2,250 |
| 未払法人税等 | 85 | 544 |
| 引当金 | 1,147 | 886 |
| その他 | 6,766 | 3,467 |
| 流動負債合計 | 141,207 | 33,545 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,800 | 1,900 |
| 長期借入金 | 14,541 | 9,475 |
| 退職給付引当金 | 4,207 | 3,210 |
| 役員退職慰労引当金 | — | 28 |
| 訴訟損失引当金 | 471 | 748 |
| 負ののれん | 46 | 175 |
| その他 | 8,730 | 7,748 |
| 固定負債合計 | 29,798 | 23,287 |
| 負債合計 | 171,006 | 56,832 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 18,181 | 18,181 |
| 資本剰余金 | 741 | 741 |
| 利益剰余金 | 10,451 | 11,325 |
| 自己株式 | △48 | △42 |
| 株主資本合計 | 29,326 | 30,206 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,279 | △1,084 |
| 繰延ヘッジ損益 | △26 | △16 |
| 為替換算調整勘定 | △2,736 | △1,953 |
| 評価・換算差額等合計 | △4,042 | △3,055 |
| 少数株主持分 | 2,288 | 679 |
| 純資産合計 | 27,571 | 27,831 |
| 負債純資産合計 | 198,577 | 84,664 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| 当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日) | |
|--|---------|
| 売上高 | 136,756 |
| 売上原価 | 121,298 |
| 売上総利益 | 15,457 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,657 |
| 営業利益 | 800 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 94 |
| 受取配当金 | 76 |
| 負ののれん償却額 | 139 |
| 持分法による投資利益 | 599 |
| その他 | 199 |
| 営業外収益合計 | 1,109 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 499 |
| その他 | 490 |
| 営業外費用合計 | 989 |
| 経常利益 | 921 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 4 |
| 固定資産圧縮特別勘定戻入益 | 280 |
| その他 | 6 |
| 特別利益合計 | 290 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除売却損 | 24 |
| 投資有価証券評価損 | 641 |
| 固定資産圧縮損 | 255 |
| 減損損失 | 771 |
| その他 | 57 |
| 特別損失合計 | 1,750 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △538 |
| 法人税、住民税及び事業税 | △14 |
| 法人税等調整額 | △242 |
| 法人税等合計 | △257 |
| 少数株主利益 | 9 |
| 四半期純損失(△) | △290 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

| | |
|------------------------|---------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純損失 (△) | △538 |
| 減価償却費 | 1,328 |
| 減損損失 | 771 |
| のれん償却額 | 109 |
| 有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益) | 641 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 76 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △1,016 |
| 特別クレーム損失引当金の増減額 (△は減少) | △2 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 304 |
| 訴訟損失引当金の増減額 (△は減少) | 19 |
| 受取利息及び受取配当金 | △171 |
| 支払利息 | 499 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,448 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △3,406 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 5,680 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △599 |
| その他 | 398 |
| 小計 | 5,542 |
| 利息及び配当金の受取額 | 445 |
| 利息の支払額 | △445 |
| 法人税等の支払額 | △1,274 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,268 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | △150 |
| 定期預金の払戻による収入 | 299 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,112 |
| 有形固定資産の除却による支出 | △388 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △169 |
| 子会社株式の取得による支出 | △34,702 |
| その他 | △68 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △36,293 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 37,223 |
| 長期借入れによる収入 | 2,530 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,857 |
| 社債の償還による支出 | △1,550 |
| 配当金の支払額 | △405 |
| その他 | △9 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 35,931 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △88 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 3,818 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,725 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 9,543 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

| | 衣料品・ 生活資材 事業 (百万円) | 化合繊・ 機能資材 事業 (百万円) | I Tイン フラ流通 事業 (百万円) | その他事 業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------|--------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 15,280 | 26,989 | 89,586 | 4,899 | 136,756 | — | 136,756 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 154 | 169 | 33 | 442 | 801 | (801) | — |
| 計 | 15,435 | 27,159 | 89,620 | 5,342 | 137,557 | (801) | 136,756 |
| 営業利益（△損失） | △223 | 779 | 60 | 171 | 787 | 13 | 800 |

(注) 1. 事業区分は、事業の種類、性質に基づいて区分しております。

2. 各事業の主な内容

- ① 衣料品・生活資材事業：紡績糸、織物、編物、二次製品の製造販売業。
- ② 化合繊・機能資材事業：化合繊綿、不織布製品、産業資材関連の製造販売業。
- ③ I Tインフラ流通事業：コンピューター機器及び周辺機器の販売等
- ④ その他事業：電気部品の成形・組立・加工業、ゴム製品製造販売業、ホテル業、ゴルフ場業、不動産業、保険代理店業、エンジニアリング業。

3. 会計処理の方法の変更

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、移動平均法による原価法から移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業損失が衣料品・生活資材事業で22百万円増加し、営業利益が化合繊・機能資材事業で32百万円、その他事業で0百万円それぞれ減少しております。

4. 追加情報

当第3四半期連結会計期間から、ダイワボウ情報システム株式会社及び同社子会社を連結の範囲に含めたため、新たな事業区分として「I Tインフラ流通事業」を追加しております。なお、「I Tインフラ流通事業」における当第3四半期会計期間末の資産の金額は123,961百万円であります。また、この事業区分の追加に伴い、従来の「非繊維事業」を「その他事業」に名称を変更しております。

[所在地別セグメント情報]

第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

[海外売上高]

第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

| 科目 | 前四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日) |
|------------------------|--|
| | 金額 (百万円) |
| I 売上高 | 51,377 |
| II 売上原価 | 41,920 |
| 売上総利益 | 9,456 |
| III 販売費及び一般管理費 | 8,227 |
| 営業利益 | 1,229 |
| IV 営業外収益 | |
| 受取利息・配当金 | 163 |
| 負ののれん償却額 | 138 |
| 持分法による投資利益 | 614 |
| その他 | 165 |
| 営業外収益計 | 1,083 |
| V 営業外費用 | |
| 支払利息 | 383 |
| その他 | 301 |
| 営業外費用計 | 684 |
| 経常利益 | 1,628 |
| VI 特別利益 | 3,538 |
| VII 特別損失 | 656 |
| 税金等調整前第3四半期純利益 | 4,510 |
| 法人税等 | 1,704 |
| 少数株主利益又は 少数株主損失 (△) | 22 |
| 第3四半期純利益 | 2,782 |

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日) |
|------------------------|--|
| 区分 | 金額 (百万円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前第3四半期純利益 | 4,510 |
| 減価償却費 | 1,184 |
| 売上債権の増減額 | 321 |
| 棚卸資産の増減額 | △525 |
| 仕入債務の増減額 | 1,131 |
| その他 | △4,467 |
| 小計 | 2,153 |
| 法人税等の支払額 | △177 |
| その他 | 4,034 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 6,010 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △757 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,259 |
| 投資有価証券の売却等による収入 | 0 |
| その他 | 127 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,889 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額 | △1,143 |
| 長期借入金の純増減額 | △67 |
| 社債の純増減額 | △1,250 |
| 配当金の支払額 | △405 |
| その他 | 7 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,858 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △6 |
| V 現金及び現金同等物の増減額 | 1,256 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,841 |
| VII 現金及び現金同等物の第3四半期末残高 | 6,097 |

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

| | 衣料品・ 生活資材 事業 (百万円) | 化合繊・ 機能資材 事業 (百万円) | 非繊維 事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------|-----------------------------|-----------------------------|--------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | 18,199 | 27,194 | 6,571 | 51,965 | (588) | 51,377 |
| 営業費用 | 18,210 | 26,165 | 6,359 | 50,735 | (588) | 50,147 |
| 営業利益（△損失） | △10 | 1,028 | 211 | 1,229 | — | 1,229 |

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

| | 日本 (百万円) | その他の 地域 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------|-------------|---------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | 49,527 | 5,662 | 55,189 | (3,812) | 51,377 |
| 営業費用 | 48,245 | 5,706 | 53,951 | (3,804) | 50,147 |
| 営業利益（△損失） | 1,281 | △43 | 1,238 | (8) | 1,229 |

6. その他の情報

該当事項はありません。